

大阪湾漁場環境速報

平成28年1月7日発行
兵庫のり研究所

穏やかな天候が続いていることから、淡路島沿岸から明石海峡部を除いた海域で、キートセロスやスケルトネマといった小型珪藻が海域により発生量に大小ありますが全般に多く確認されており、栄養塩（窒素やリン）が低い調査地点も見られました。

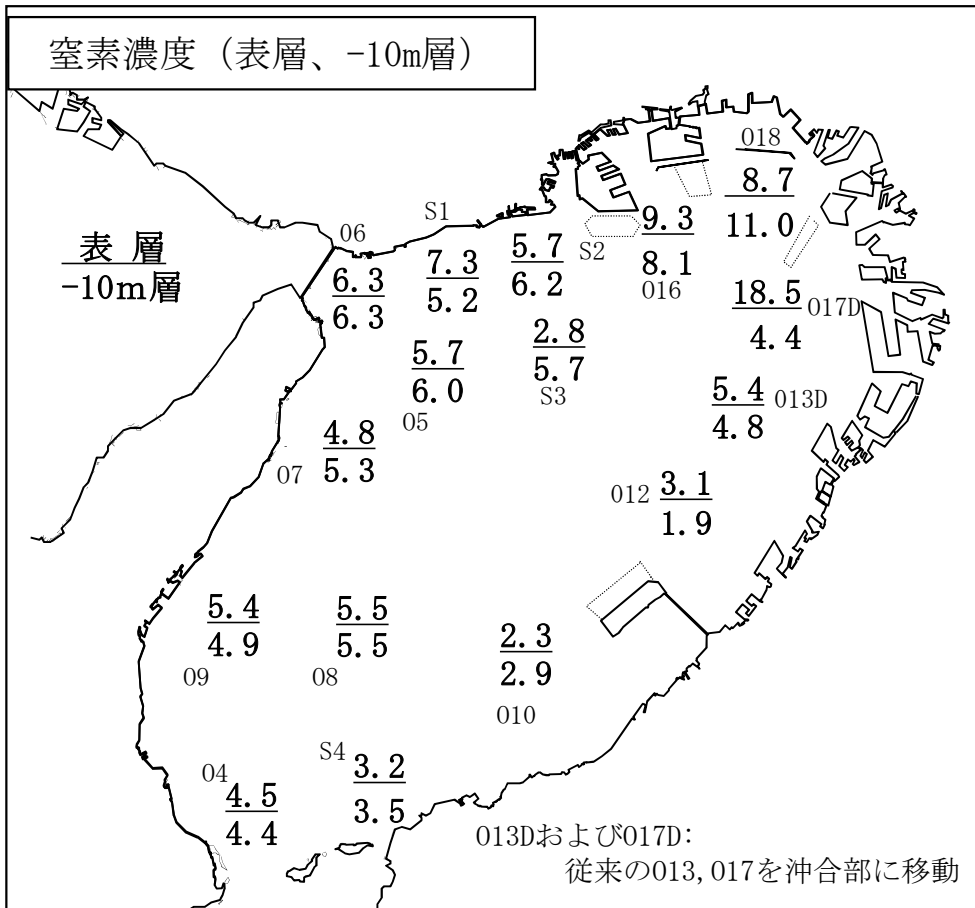
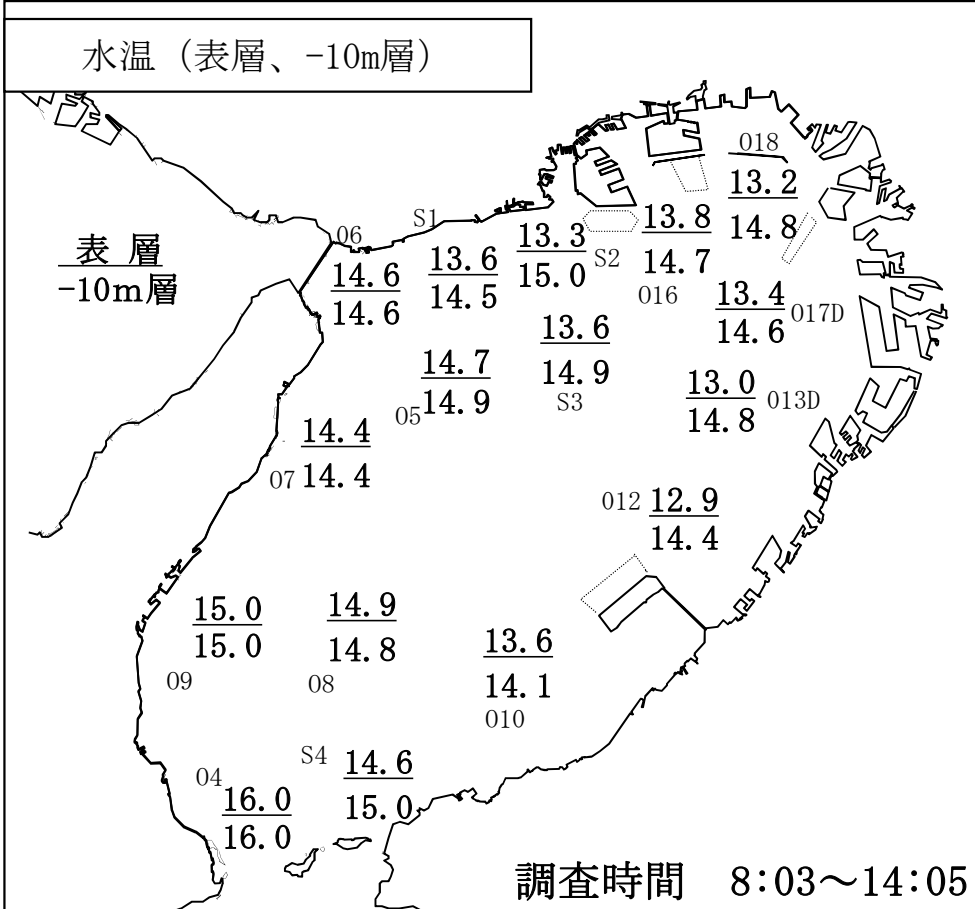
(水温) 表層は湾内13~16℃台で、平均14.2℃。平年比約2.8℃高い。-10m層も平均14.8℃と平年比3.4℃高い状況。

(塩分) 表層平均31.80psu(平年 31.88)。-10m層平均32.27psu(平年 32.09)。

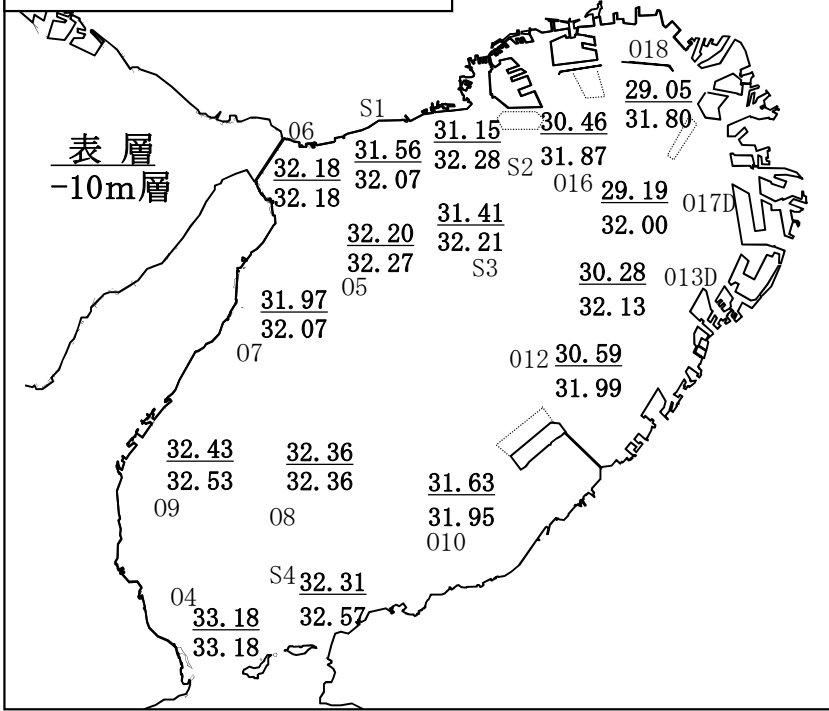
(栄養塩、他) 表層の窒素は平均5.1μg-at/L、リンは平均0.32μg-at/L。窒素・リンともに平年より低い。-10m層(平均)は、窒素5.1μg-at/L、リン0.46μg-at/L。神戸地先~湾奥・岸和田にかけて(水温13℃台前半以下・塩分31psu台前半以下の海域)、キートセロス・スケルトネマを主体とした数種の小型珪藻が大量発生しており、これら海域において特にリンの濃度が大きく減少している。また神戸空港東~加太では、-10m層においてもこれら珪藻がやや多く確認され窒素が3μg-at/L以下の調査地点も見られた。今回調査は小潮期後ということもあったが、潮流や風波による海水の攪拌に期待したい。

上段 (今回値)	平成28年1月6日調査
中段 (昨年値)	
下段 (平年値)	1月上旬

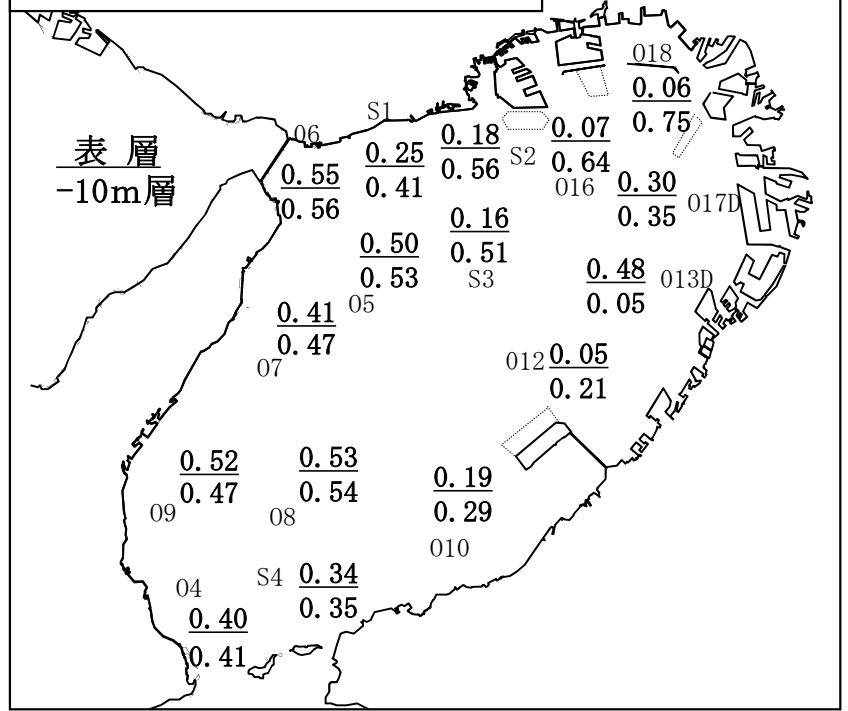
調査地点	水温 (°C)	塩分 (psu)	三態窒素 (μg-at/L)	磷酸 (μg-at/L)
04	16.0	33.18	4.5	0.40
	12.7	32.71	7.3	0.62
05	14.7	32.20	5.7	0.50
	11.4	32.05	7.6	0.60
06	14.6	32.18	6.3	0.55
	11.2	32.09	7.3	0.59
07	14.4	31.97	4.8	0.41
	11.6	32.23	6.9	0.61
08	14.9	32.36	5.5	0.53
	12.3	32.39	7.0	0.61
09	15.0	32.43	5.4	0.52
	12.5	32.55	6.9	0.61
010	13.6	31.63	2.3	0.19
	11.4	32.17	8.2	0.60
012	12.9	30.59	3.1	0.05
	10.6	31.47	13.1	0.56
013D	13.0	30.28	5.4	0.48
	10.3	31.13	15.2	0.51
016	13.8	30.46	9.3	0.07
	10.3	30.28	18.8	0.58
017D	13.4	29.19	18.5	0.30
	9.8	29.62	32.1	0.81
018	13.2	29.05	8.7	0.06
	9.9	28.14	48.9	1.44
S1	13.6	31.56	7.3	0.25
	10.9	31.37	11.4	0.58
S2	13.3	31.15	5.7	0.18
	10.5	30.75	15.5	0.55
S3	13.6	31.41	2.8	0.16
	11.2	31.89	7.8	0.56
S4	14.6	32.31	3.2	0.34
	12.3	32.54	7.5	0.63



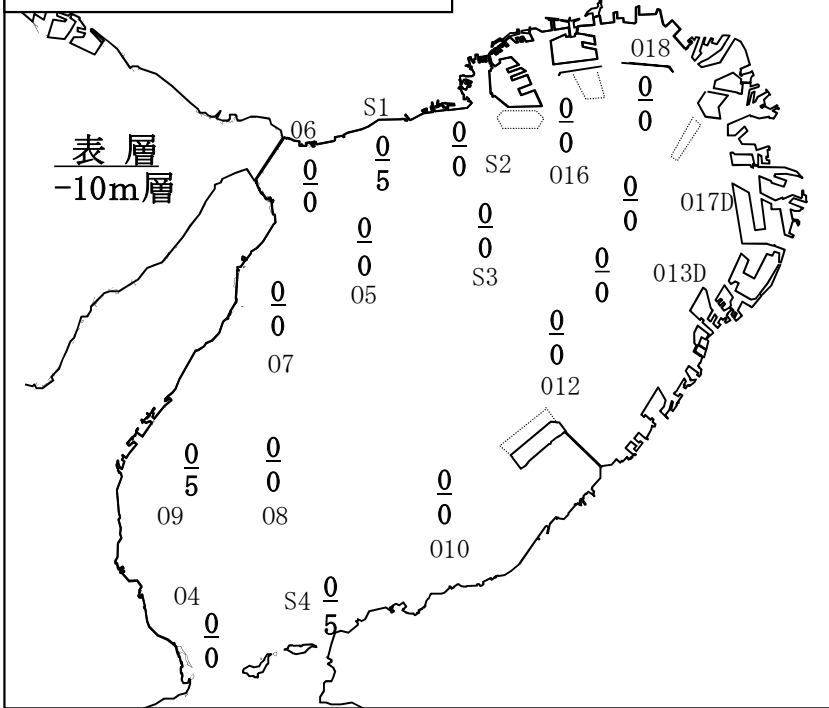
塩分 (表層、-10m層)



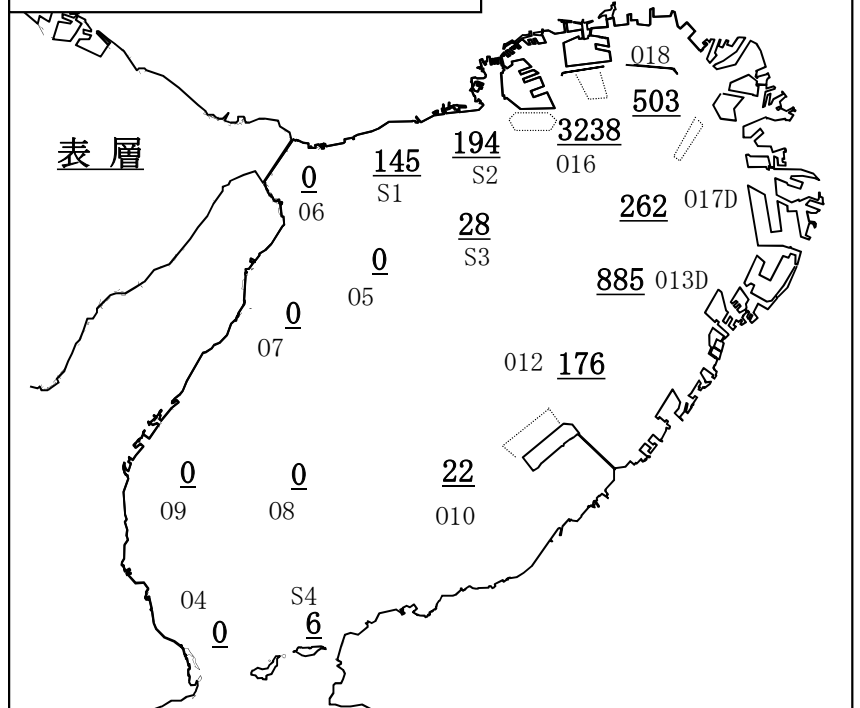
リン濃度 (表層、-10m層)



コシノディスカス (細胞/L)



スケルトネマ (細胞/ml)



ユーカンピア (細胞/ml)

